

ハイライトよねやま 67

(財)ロータリー米山記念奨学会

2005年9月12日発行

1. 寄付金速報 ～ 10月の米山月間に向けて

8月までの寄付金は、前年同期と比べて1.2%増、約370万円の増加でした。普通寄付金は1.0%減でしたが、特別寄付金は6.2%増となり、今月も順調です。この良好な結果は、関係者の皆さまによるご努力のたまもの他にありません。特別寄付金は、10月から12月にかけてピークを迎えます。9月に新しい資料を送付いたしますので、事業への理解促進にご活用ください。また、卓話等で寄付金データや資料の希望がございましたら、ご用命くださいますようよろしくお願い申し上げます。

2. 9月1日より新事務局長が就任



【前事務局長 宮崎幸雄(2580地区/東京RC)からの挨拶】

米山への寄付が急降下した98年、“米山奨学事業の再編が急務”と言われ、ここへ飛び込んできました。現状に対するさまざまな疑問に答えるべく、アンケートやフォーラムを実施し、多くのロータリアンの声を反映した制度改編に着手しました。ガバナンスの強化、事務局の経費節減、寄付増進などの課題も、ようやく整理された実感があります。日本との懸け橋として活躍する学友、「やってよかった！」と喜びと希望を互いに分かち合える新しい米山奨学事業の姿も見えてきました。次に引き継ぐ時が来ました。長い間のご支援、多くの励ましに「感謝」以外の言葉が見つかりません。坂下さんに事務局長のバトンを渡し、理事の一人として残る任期を勤めます。ありがとうございました。

(全文はホームページ・ハイライトよねやま67号に掲載)



【新事務局長 坂下博康(2580地区/東京北RC)からの挨拶】

前任の宮崎事務局長が築き上げた、小さいながらも強靱な事務局を受け継ぎ、来年度からの米山奨学事業制度改編、公益法人制度の抜本改革、新公益法人会計基準の導入など内外に山積する課題に全力を挙げて対処したいと思えます。そのために情報公開に基づく透明性を確保しつつ、その一方で事務の一層の効率化を目指します。

事務局に対する皆様のご支援・ご指導を改めてお願い致します。

3. 2005年度第1回理事会・評議員会開催報告

8月30日、2005年度最初の理事会・評議員会が、東京・品川の新高輪プリンスホテルで開かれ、全国から理事、監事、評議員(陪席者含む)計106名が出席しました。

歓迎昼食会には、元米山奨学生で初めて台湾のガバナーに就任した許國文氏(第3490地区・台湾)を迎え、喜びと感動を共にしました。

今回の主な議案である昨年度の事業報告では、2006年度制度改編アクションプランをはじめ、さまざまな米山奨学会の活動実績が報告されました。また、決算報告では、2004年度寄付金14億円とその使途が適正であることの報告を受け、質疑応答の後、承認されました。

役員人事*は、今回退任する高野、加美山両副理事長と、任期満了となった12名の理事に対して感謝状が贈呈され、続いて新副理事長に選任された金子千侍氏、坂部慶夫氏、新常務理事に選任された仁田一也氏の紹介がありました。

理事会・評議員会後に開かれたフォーラムでは、任意で参加した地区米山奨学委員長を交え、新しい制度の説明が行われました。熱心な討議とともに、新しい制度への期待と抱負が感じられた一日でした。(専務理事 宮崎幸雄)



歓迎昼食会で卓話をする
許國文氏

*2005年度の全役員については、『ロータリーの友』10月号よねやまだよりに掲載されます

4. 愛地球博 ロータリー館で「米山デー」開催



8月28日(日)、2005年日本国際博覧会(愛・地球博)のロータリー館にて、第2760地区(愛知県)の米山委員会および学友が企画した「米山デー」が開催されました。第2760地区の奨学生・学友、ロータリアンはもちろんのこと、他地区からも多数の参加があり、総勢200名以上の大規模な集まりとなりました。

昼の部は、高橋ガバナーや島津理事長の挨拶から始まる式典、夜の部は、色とりどりの民族衣装に身を包んだ学友と、浴衣や法被を着たロータリアンとの懇談会が行われました。鈴木委員長による突撃インタビューを受けた学友たちは、突然の指名に驚きながらも、楽しく有意義な一日であった

と、日頃の感謝の気持ちを込めて答えていました。「愛・地球博」の名にふさわしい、国際色豊かな交流が実現した米山デーでした。



5. 奨学生の卓話を広めよう

「奨学生の声を多くのロータリアンに届けたい」。東京地区では、10月の米山月間に向けて、



奨学生の卓話を広める機運が高まっています。

8月初旬、2750地区(東京都西南部)と2580地区(東京都東北部)で、現役奨学生と地区役員との懇談会が開催されました。奨学生の近況や研究内容、卓話に協力できる曜日聞き、できるだけ多くのクラブへ卓話派遣の道を広げるためです。懇親会への誘いに対

して奨学生は、「声をかけていただいて嬉しい。そして奨学生として自分が役に立てることがもっと嬉しい」と言います。ある地区役員は「奨学生がロータリアンとの接点を求め、可能な限り貢献したいという気持ちは想像以上」と今回の試みに手ごたえを感じており、今後も定期的実施していきたいと話しています。



よねやまニュース

当会監事の谷内宏文氏著 『点描 米山梅吉 日本のロータリークラブと信託業の創始者』



米山梅吉に関する膨大な資料を読み、著者が足を運んでまとめた力作。米山梅吉の生きざまを通じて「父や祖父がどう生きようとしていたのか知りたい」(あとがきより)という言葉どおり、ロータリアンとしての梅吉のみならず、激動の時代背景や、信託業の事績を学ぶことができる。購入希望者は、書店あるいは新風舎(TEL:03-3746-4648)まで。

谷内 宏文 著 / 新風舎文庫 / 890円

事務局移転のお知らせ

米山奨学会事務局は、9月12日より新しい事務所へ移転しました。

【新住所】

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15

黒龍芝公園ビル 3階

電話番号・FAX番号・メールアドレス・ホームページアドレスは変わりません。

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当:野津・大庭のおおぼ
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/